

市の教育委員会としてどう対応できるか検討したい。

質問 不登校の状況はどうなっているか。

答弁 2月末で、小学校は17名であり、過去5年で最も多い数となっている。中学校は57名でありもともと少なくなっている。

質問 子どもの居場所づくり事業でボランティアを増員はできないか。

答弁 ホワイトキャンパス、パステルハウスについては複数人数の配置を検討する。

質問 子どもの読書習慣をつけるための方策は。

答弁 中学校での読み聞かせ活動を実施している。昨年奥州市として毎月4日を家庭読書の日とした。広報用ポスターの掲示や出前事業を実施している。

質問 近年高齢者や孤独死や孤立死の問題が叫ばれている。奥州市においてどのような対策を講じているのか。

しているのか。

答弁 社会福祉協議会において「近所福祉スタッフ」を、概ね50世帯を対象に配置し、民生委員の補佐役をするようなシステムを構築している。また、1月1日現在309世帯に緊急通報装置を設置して対応している。今後電気、ガス水道等の検針員、郵便配達員等も含めたネットワーク作りが必要と考えており、その立ち上げをしていきたい。

質問 エンゼルプラザの開設について、平日のみではなく土日も開設できないものか。

答弁 スタッフの問題もあり、必要性も含め今後検討していきたい。

質問 保育所の給食にかかわる放射線量の検査体制をどのようにしていくのか。

答弁 事前検査をすることとは難しく、事後においての検査体制をとらうと

している。

質問 生活保護の不正受給について奥州市の実態は。また就労支援についてどう取り組まれているか。

答弁 当市において不正受給の実体はない。就労支援については定期的にしており、就労可能な方については適合する仕事の紹介等をしている。

質問 敬老会の持ち方が各区ばらばらな状況であるが、統一すべきではないか。

答弁 地域の特性を生かしながら地域で主催する方向で努力している。

質問 医師奨学生について、どのような条件を付して利用させているか。

答弁 奥州市内の市立病院、および診療所に一定期間（貸付を受けた期間）勤務することになれば奨学金の返還は免除するということである。しかしそれを条件として奨学金を利用させないというこ

とは出来ない。

産業経済部門

質問 乾しいたけが放射能検査の結果、基準値を超えた問題をどう捉えているか。

答弁 まだ全てを把握している段階にないが、危険な状態にあると思っっている。県では、県北のほだ木を検査の上、供給する考えも持っている。生産農家は高齢者の方が多く、やめてしまうのではという懸念がある。東京電力への補償請求も進めていかなければならない。

質問 基準値を超えてしまった牧草への対応はどうしていくか。

答弁 牧草の除染は全て行い、その費用は県で助成していく。作業は農業公社が全て行うことが基本だが、農家が農業公社と契約し、作業を代行する方法もあり、費用は公社から農家に支払われる。転作田については原則的

に戸別所得補償の対象になると考える。

質問 牧野事業への影響はどのように把握しているか。

答弁 雪解け後に県が検査するが、数値によっては1000頭もの牛が放牧できないという大変な事態になる。ロールにして販売しているが、その収入も見込めなくなる。

質問 農家の方々への悪影響を最小限にしなければならぬ。かなり周知な準備が必要だ。東京電力への補償はどうなるのか。悲観的に考えている農家もある。

答弁 東京電力への補償請求は、全農の方で立替をし、農家に支払うやり方になる。農家への負担を最小限にしていかなければならないと考える。

質問 昨年行われなかった日高火防まつりだが、いわてデスティネーションキャンペーンの期間中ということ、新たな取

り組みはあるのか。

答弁 2年ぶりの開催になる。首都圏や仙台などで、昨年から誘客キャンペーンを実施している。東北観光博や世界遺産の平泉からの誘客も促進したいと考える。5月の江刺甚句まつり、6月の前沢牛まつりなど関連させて、機会あるごとに誘客キャンペーンを行って



300年を超える歴史を持つ日高火防祭

質問 物産振興の面で、「奥州はっと」の普及の取り組みは。